

ふれあいを育てるしくみ

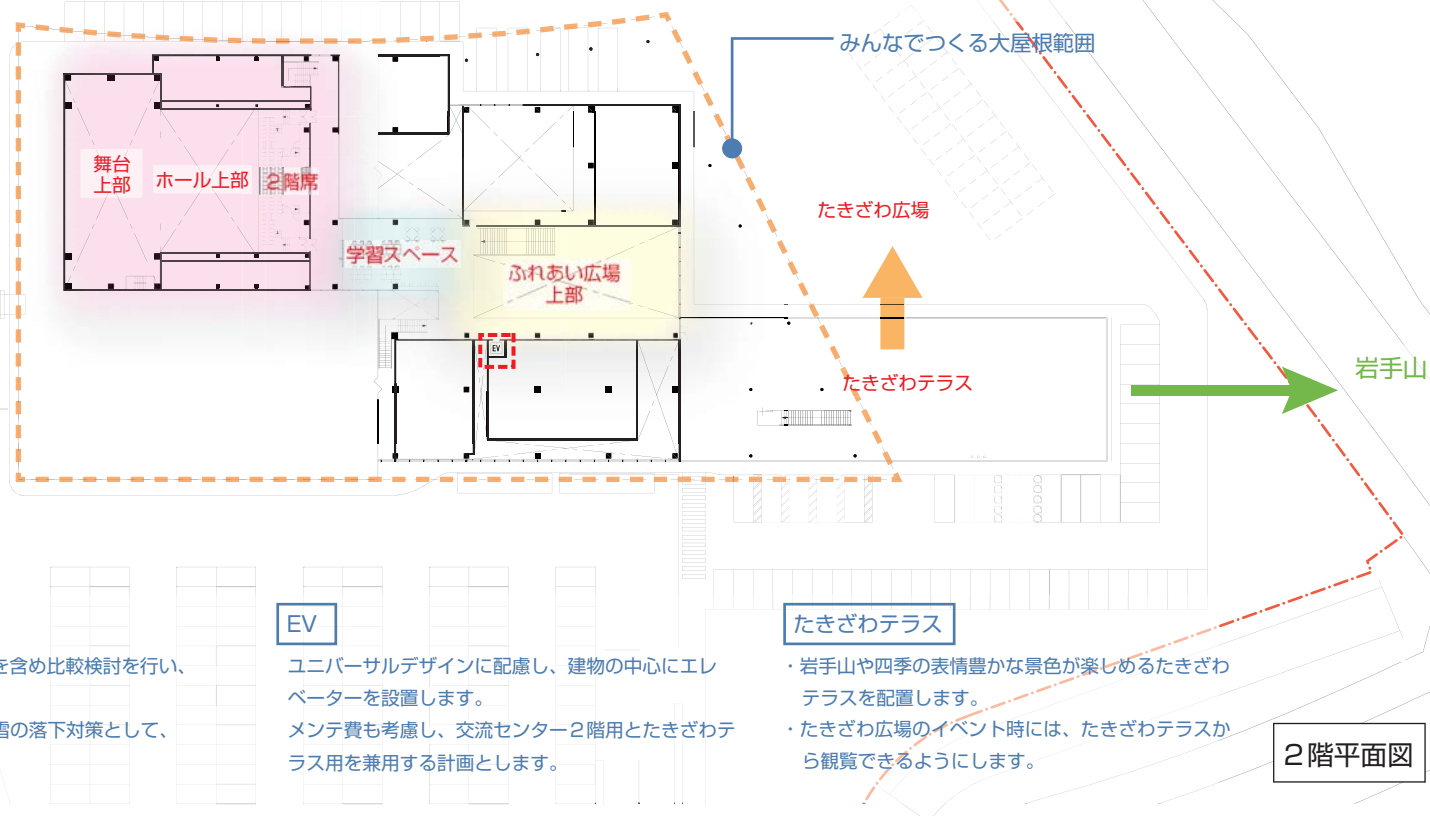
■大ホール		
<p>新たなホール形状の提案。基本計画時での500席、500㎡の平土間は、客席部分が間延びしてしまいバランスが悪いため見直しを行い、舞台を利用した平土間とすることで、バランスのとれたホール空間を創出することができました。 さらにこれにより客席を一部昇降床とし、最大456席のホールから346席のホールまで、多様なホール空間を創出することができました。</p>		
	断面	平面
舞台利用時		
	客席：456席	音響反射板形式 プロセニウム形式
平土間利用時		
	平土間：500㎡	
可動床舞台利用時		

学習スペース

大屋根下の天井が高い空間を有効利用して、ふれあい広場から視認性の高い位置の2階に学習スペースを設け、小中高校生の集まる場をつくります。

ふれあい広場上部

大階段を設け、人の活動が外からも感じられる場としました。また階段を座席とし、ちょっとした休憩の場として使えるように工夫しました。  
ふれあい広場の上部を吹き抜けとし、1階と2階の一体感を作り出します。またハイサイドライトを設けることで、外から光を取り入れ、明るくて暖かい空間を作り出します。



屋根

屋根材は、費用対効果、将来のメンテナンスを含め比較検討を行い、シート防水対応を採用します。  
雪対策については、屋根に貯める対応とし、雪の落下対策として、屋根先端部にヒーターの設置を行います。

EV

ユニバーサルデザインに配慮し、建物の中心にエレベーターを設置します。  
メンテ費も考慮し、交流センター2階用とたきざわテラス用を兼用する計画とします。

たきざわテラス

岩手山や四季の表情豊かな景色が楽しめるたきざわテラスを配置します。  
たきざわ広場のイベント時には、たきざわテラスから観覧できるようにします。

2階平面図

